

岩手県観光協会 だより



編集・発行

公益財団法人岩手県観光協会(発行責任者:高橋)

〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス3階

TEL: 019-651-0626

FAX: 019-651-0637

URL: <https://iwatetabi.jp>



★「いわてバリアフリー観光情報案内所」を開設

12月10日、協会内にバリアフリー観光に対応した情報提供の窓口を開設しました。高齢化と共生社会の進展で高まるニーズや、ラグビーワールドカップ2019釜石開催や2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催も見据えての取組です。

まずは賛助会員の宿泊施設のバリアフリー対応状況の調査を実施し、その結果を取りまとめ、協会ホームページ「いわての旅」内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」のページを設けて紹介しているほか、観光案内の問合せにお答えすることにしています。

今後は、観光施設なども加え順次紹介施設を増やし、内容を充実していく予定です。



<https://iwatetabi.jp/barrierfree/>

★観光客誘致説明会(仙台・名古屋・大阪)開催

岩手県観光協会及びいわて観光キャンペーン推進協議会では、大都市圏からの観光客の誘致拡大を図るため、仙台(10月23日)・名古屋(11月7日)・大阪(11月8日)の各会場において、「岩手県観光客誘致説明会」を開催しました。



全体説明会(仙台会場の様子)

説明会では、本年6月22日に就航した本県初の定期フェリー「宮古・室蘭フェリー」、来年3月23日に運行を開始する三陸鉄道「リアス線」、そして、来年6月1日から8月7日まで開催される「三陸防災復興プロジェクト2019」の情報など、本県の魅力ある観光資源を紹介したほか、いわて観光キャンペーン推進協議会からは、岩手県の観光客の入込状況やバスツアー等運行助成事業の概要

など、岩手県の観光の取組みについて説明しました。引き続き開催した商談会では、本県参加者が旅行会社のテーブルを回り、積極的かつ熱心に商談を行ったほか、交流会では、「岩手まるごとおもてなし隊」によるステージパフォーマンスを披露するなど、参加旅行会社に対し、岩手の観光をPRしました。

※各会場の参加状況

- 仙台会場(仙台国際ホテル)
 - 旅行会社 14社 24名
 - 岩手県側 36団体 52名
- 名古屋会場(名鉄ニューグランドホテル)
 - 旅行会社 12社 23名
 - 岩手県側 33団体 43名
- 大阪会場(アートホテル大阪ビクター)
 - 旅行会社 11社 21名
 - 岩手県側 30団体 38名



個別商談会(名古屋会場の様子)

★修学旅行誘致説明会(大阪)開催

関西地方からの教育旅行の誘致拡大を図るため、11月16日、アートホテル大阪ベイトワールにおいて、岩手県修学旅行誘致説明会を開催しました。来賓2団体3名、中学・高等学校6校7名、旅行会社7社24名、岩手県側31団体40名、計74名が参加しました。

全体説明会では、岩手県観光課から「日本のふるさとが残る岩手への修学旅行のご提案」と題して、本県の教育旅行の受入状況や復興道路の整備による沿岸地域へのアクセス向上の状況などについて説明しました。



安藤部会長あいさつ

また、本県の体験学習の柱となっている「震災学習」について、陸前高田市観光物産協会副会長 實吉義正氏が「語り継ぐ、あの日、あの時、そし

て現今(いま)」と題して、事例紹介を行いました。
 全体説明会終了後には、参加した学校教諭・旅行会社と岩手県側参加者による個別相談会・個別商談会を開催しました。

★外国人留学生モニターツアー in 釜石大槌

外国人の受入態勢整備の向上や誘客促進を図るため、岩手銀行・さんりく基金と連携して、岩手大学・岩手県立大学7名の留学生を対象としたモニターツアーを、11月17日〜18日実施しました。

初日は、遠野市の「根わさび収穫体験」、釜石市根浜海岸の「サイクルツーリズム」二日目は、釜石市鶴住居地区の「防災ガイド&鶴住居復興スタジアム」、大槌町大槌湾周辺の「サイクルツーリズム」を視察・体験しました。



わさび収穫体験 集合写真

留学生からは、「わさびの収穫体験は楽しかった。わさびをよく知ることができた」、「サイクルリングでは、電気自動車のため、坂道が楽で、景色がきれいだった」などの評価をいただきました。

★おもてなしの心向上研修会開催

岩手らしい温かいおもてなしの心でお迎えできるよう接客向上を目的とした研修会を、「インバウンド観光の受入」と「バリアフリー観光の受入」の二部形式で、11月28日に開催しました。

「インバウンド観光の受入」では、外国人の顧客満足と基本的な接客マナー、英語での実践的な接客事例等を、「バリアフリー観光の受入」では、ハード・ソフト整備の取組、お客様に喜ばれる対応と注意する対応等を指導いただきました。



インバウンド観光研修会の様子

受講者41名が参加し、受講者からは、「講師の経験や実践を活かした内容がわかりやすく良かった」、「ソフト面がとてもしっかり学べたことを学びました」など、高い評価をいただきました。

★「台北国際旅行博(IFTF 2018)」/「日本東北遊楽日2018」参加報告

11月23日から26日まで台北南港展覽館で開催された「台北国際旅行博」に参加しました。今回から会場が変更され広くなったことから、家族連れのお客様も多く訪れていました。ブース内ステージでは盛岡さんさ踊りを披露し、東北の参加者と共に、多くのお客様に東北・岩手県に訪れていただけるようPRを行いました。

また、12月14日〜16日には、「日本東北遊楽日2018 だいすきとうほく」(主催/日本政府観光局、日本東北六県感謝祭実行委員会)が台北市の華山1914文化創意産業園区で開催されました。

東日本大震災津波復興支援の「感謝」を伝え、東北旅行の魅力をもっとPRするイベントとして、5回目の開催となりますが、期間中は過去最高となる13万5千人が来場、メインス

テージでは、現地の高校生と盛岡さんさ踊りの共演による岩手のPRステージを披露するなど、台湾の皆様にも岩手の魅力を発信しました。



「日本東北遊楽日2018」岩手県ブースの様子

★タイで人気の Facebook「Jejeje IWATE」取材に同行

一昨年度実施したタイ観光客受入現地指導事業でタイから招請した(株)アディアインターナショナルの多田桂子さん(前岩手県観光コーディネーター)が開設している「Jejeje IWATE」は、豊富な写真と詳細な記事で、県内の観光情報を紹介しており、フォロワー数1万7千5百を超えるタイで人気のフェイスブックです。

紹介記事が掲載されると、当協会のHPアクセス数が急増するほか、実際にフォロワーの方が協会に来訪されるなどの効果が出ています。12月4日に多田さんが小

岩井ウインターイルミネーションを取材する際に同行し、小岩井農牧(株)と(一社)しずくしい観光協会様の御協力を得て、撮影などを行いました。今後も県内の観光情報を積極的に御紹介いただけることとす。



<https://www.facebook.com/Jejeje-IWATE-385939038586932/>



★主な行事予定(3月まで)

【1月】

18日〜22日・韓国SNS強化発信事業県内取材(三陸鉄道、内陸、他)

22日・教育旅行誘致宣伝部会第2回幹事会(盛岡市)

【3月】

7日・賛助会員全員協議会(盛岡市)

19日・第4回理事会(盛岡市)

22日〜24日・東京モーターサイクルショー出展(東京都)